



# たぬしまる 久留米市立田主丸中学校通信

【教育目標】ともに未来を切り拓く「人間力」を身につけた生徒の育成

令和6年2月14日(火) No. 19 文責：校長 立山雅夫

## ☆第36回青少年ミュージックフェスティバルがありました。

2月4日(日)に、第36回青少年ミュージックフェスティバル(主催 浮羽ライオンズクラブ、後援 久留米市教育委員会)が、うきは市文化会館(愛称：白壁ホール)で行われました。旧浮羽郡の小中学校、16校と、浮羽究真館高校、浮羽工業高校の生徒が参加し、終日、音楽(合奏、合唱)が、ホールに響き渡りました。

田主丸中学校からは、吹奏楽部(1, 2年生 21名)が参加し、3年生が引退して初めて公での場での演奏でした。合奏する前に、司会者が各学校に質問をする場があり、田主丸中学校では、吹奏楽部、部長の鳥巣志帆さん、副部長の中野愛菜さんがその質問に答えました。司会者から「田主丸中学校の良いところは何ですか?」と質問され、「挨拶と掃除がよくできる中学校です」と答えました。生徒がそのように思っていること、また行動してくれていることにとても嬉しく感じました。

田主丸中学校の吹奏楽部は、「Official 髭男 dism メドレー」「ダンスホール」という曲を演奏しました。日頃、放課後や休日の部活動で校舎内に練習する音が鳴り響いて、しっかり取り組んでいる様子が伺えますが、その成果を出せた演奏会だったと感じました。次の演奏会に向けて、これからも日々、練習に精進してほしいと思います。

吹奏楽部の生徒の皆さん、お疲れさまでした。

## ☆生徒会の取組み、アルミ缶回収で義援金を送りました。

生徒会の美化委員会を中心に、これまでアルミ缶回収の取組みを行い、アルミ缶のリサイクルを推進することで、資源、エネルギーの有効利用を図り、空き缶公害防止による自然環境保護を目的として取り組んできました。また、得た収益は、生徒会で必要な経費に充てて



きましたが、1月1日に起こった、能登半島地震で多大な被害を受け、被災された方々は、今なお、日常生活に支障がある状況です。そこで、新生徒会がこの生徒会の取組みであるアルミ缶回収で今まで得た、67,248円を、日本赤十字社を通じて義援金として寄付しました。これからも、生徒会を中心に、2週間に1回、アルミ缶回収の取組みを行っていきます。環境のためにも、皆様のご協力をお願いします。

## ☆3年生、進路獲得に向けて最後まで、しっかり!

あっという間に、2月も中旬になり、3年生は進路に向けて、大変な日々を送っていることだと思います。3年生の皆さんは、焦る気持ちで、何も手につかなくなることもあるかもしれませんが、実行あるのみです。1日1日、進路に向けて具体的に計画を立て、それを実行してほしいと思います。決して努力したことは、今後無駄になりませんからね。

## ☆1・2年生、進路学習(キャリア教育)があります。

1年生は、2月27日(火)から「多くの情報を収集し、取捨選択しながら自己の進路を切り拓いていく力を身につける。」「将来就きたい仕事(職業)について調べ、自己の進路選択に対する考えを深める。」をねらいに、進路学習(キャリア教育)を行っていきます。学習の取組みは、①働く意義について考える。②職業についての自己適性について(職業レディネステスト)、③自己の興味・関心が高い職業と適性について考える。④高校調べを行います。

2年生も、2月26日(月)から「自分自身を見つめ直し、進路意識を確認する。」「高校の先生方から、学科やコースで学ぶ内容や高校進学にあたっての心構え等の講話を通して、進路選択における情報を得る。」「高校調べを通して、進路獲得への意識を高める。」をねらいに、進路学習(キャリア教育)を行っていきます。その内容は、①進路意識シートの作成を行います。②高校の先生による学科による講話(久留米信愛高校、久留米学園、祐誠高校、藤蔭高校、昭和学園)を聞き、取得できる資格や高校卒業後の進路、高校へ進学するにあたっての心構えや中学時代にしておくことを知り、日ごろの生活へ生かす。③自分が興味を持った学科のある高校について調べ、レポートを作成する。④先輩から話を聞く。(現高校2年生)を行います。

中学校を卒業して、どのような目的で進路決定するのかはとても大切になります。いろいろな職業を知ること、また、職業に就くために必要な資格や力、そのことを知っているのと知らないのでは、生活の過ごし方も違うのではないかと思います。自分の目標を見つけ、そのことが実現できるようにしっかり取り組んでいきましょう。